



2月は省エネルギー一月間です

寒い冬は、暖房機器の利用などにより、エネルギー使用量が増える季節です。今年の冬も感染症の影響で、自宅で過ごす時間が増えることが予想されます。おうち時間が増えると、エネルギー使用量が増え、電気代などの光熱費も気になりますね。衣類や暖房機器の使い方を工夫し、経済的で快適な冬を過ごしましょう。

WARMBIZ

ウォームビズを取り入れよう!!

ウォームビズは、環境省が呼び掛けている、暖房時の室温 20℃で快適に過ごすライフスタイルのことです。ウォームビズは、難しい取組ではありませんので、さっそく実践してみましょう。

例えば、暖かい機能性素材の下着を着用することや、室内でもセーターやカーディガンなどを1枚多く着よう工夫してみましょう。

また、首、手首、足首など太い血管のある部分を重点的に温めると、体全体が温まり、冷え症などの改善に役立ちます。

詳しくは、環境省のホームページをご覧ください。

⇒ <https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/warmbiz/>



室温
20℃



おたずね／出雲市地球温暖化対策協議会事務局（環境政策課ゼロカーボン推進室） ☎21-6535

PM2.5の「注意喚起情報」

冬から春にかけて、PM2.5（微小粒子状物質）の濃度が上昇する傾向があります。

県では、1日の平均値が $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ （マイクログラム／立方メートル）を超えると予想される場合等に注意喚起を行います。市では、県からの注意喚起を受けた場合、市のホームページや防災行政無線、ケーブルテレビなどを通じて市民の皆さんへ注意を呼びかけます。

注意喚起情報が発表されたら

- ▶ 外出はできるだけ減らしましょう。
- ▶ 屋外での長時間の激しい運動は、できるだけ減らしましょう。
- ▶ 屋内でも換気や窓の開閉を最小限にするなど、外気の侵入を少なくしましょう。
- ▶ 呼吸器や循環器に疾患のある方、子どもや高齢者の方は体調に応じて、より慎重に行動しましょう。

大気汚染の状況や注意報などの詳しい情報については、島根県のホームページをご覧ください。



・県内のPM2.5等の状況



・PM2.5に関するQ&A等



・大気汚染情報等のメール配信サービス『しまね防災メール』の登録方法

おたずね／環境政策課 ☎21-6987

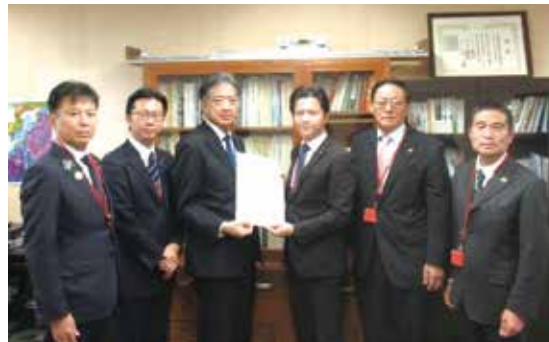
新幹線整備の実現をめざして

中海・宍道湖・大山圏域の市町村、市町村議会、経済団体で構成する中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議では、山陰の2つの新幹線の整備実現に向けて、国への要望やPR活動、調査研究など、官民が一丸となり取り組んでいます。

11月17日には、圏域5市長が本推進会議を代表し、国土交通省鉄道局 奥田官房技術審議官と面会し、次の要望を行いました。

- 伯備新幹線及び山陰新幹線の早期実現
- 地元負担のあり方の見直し
- 並行在来線の経営分離の見直し
- 新幹線整備にかかる予算総枠の拡大

(左から) 出雲市長、米子市長、奥田官房技術審議官、松江市長、安来市長、境港市長



中海・宍道湖・大山圏域への新幹線整備により、このようなことが期待されています。

地域資源に恵まれた
ポテンシャルの高いエリア!

新幹線による「時間距離2時間短縮」により
ワーケーションや二地域居住など
都市部との人流が活発化!



<p>経済交流の拡大・観光人口の増加</p> <p>地域間連携の推進</p> <p>一極集中型から分散型社会への転換</p> <p>国土強靱化（リダンダンシーの確立）</p>	<p>持続可能なまちづくり</p> <p>地域経済成長の実現</p> <p>災害に強い国土づくり</p> <p>環境負荷の低減</p>	<p>SDGsの達成</p>
---	---	----------------

詳しくは、中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議のホームページをご覧ください。
<https://hakubi-shinkansen.jp>

